

事後評価検討会における委員からの主な意見（令和２年度事後評価）

【農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進】

- カドミウム低吸収性イネの実証に関して、後にマニュアルを作成するということがあったが、こういった実証は広く周知することに意義があると思う。是非周知活動に重きを置いて欲しい。

【家畜衛生の推進】

- ブルセラ病やヨーネ病といった家畜伝染病の発生が抑えられたことについても評価すべきではないか。検査数が減ったことをもってマイナス評価とするのではなく、病気が抑えられたことを最終的な評価とするような、疾病の発生数も考慮した評価とするのが良いのではないか。

【その他意見】

- 今回 C 評価が全くなく、B が 2 つと、毎年良くなっている印象である。毎年の努力は非常に大事であり、こうした日頃の努力があれば、今般の新型コロナのような新たなリスクにも対応できるのではないかと考えている。今後も是非とも続けて欲しい。